



消防環境ネットワークニュース

特定非営利活動法人 消防環境ネットワーク 第 21 号 平成 29 年 12 月 28 日発行

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-18-2 NKK ビル 4 階

TEL 03-5404-2180 FAX 03-5404-7372 URL <http://www.sknetwork.or.jp/>

1. 「ハロン消火剤と予防行政に関する研修会 2017」を開催

平成 26 年度に初めて開催した「改正 155 号通知に関する研修会」や平成 27 年度以降に開催した「ハロン消火剤と予防行政に関する研修会」は、大変に好評でした。引き続き、「国家ハロンマネジメント戦略」に基づきハロン消火剤の回収・リサイクルの推進を図る必要があることから、今年度も「ハロン消火剤と予防行政に関する研修会 2017」を開催しています。研修会ではハロン消火剤に関する内容のほか、消防庁予防課担当職員より最近の予防行政の動向についての講演も行われています。

参加人数は下表のとおりです（講師、事務局を含まず）。6 会場合わせて 388 名となり、前年度開催の 341 名を大きく上回る参加人数です。

開催日	平成 29 年 12 月 1 日	12 月 8 日	12 月 15 日	12 月 22 日	平成 30 年 1 月 19 日	1 月 26 日
会場名	名古屋	熊本	仙台	広島	大阪	東京
参加人数	37	33	39	41	86	152

注）大阪、東京の両会場は、12 月 25 日現在の申込者数。



名古屋会場①



名古屋会場②



熊本会場①



熊本会場②



熊本会場③



復旧工事が進む熊本城



仙台会場①



仙台会場②

2. ハロン 1301 回収再生設備の登録更新

次の 2 社よりハロン 1301 回収再生設備の登録更新の届け出があり、現地調査を行ってその内容の確認を実施しました。

会 社 名	所 在 地
松山酸素株式会社	愛媛県松山市西垣生町 2877 番地
岩谷瓦斯株式会社	兵庫県姫路市大津区勘兵衛町 3 丁目 2 番地 2



松山酸素株式会社



岩谷瓦斯株式会社

3. ハロン消火剤及びハロンを除くガス系消火剤の登録状況

平成 29 年度（平成 29 年 4 月～11 月）のハロン供給及び回収実績、ガス系消火剤の登録状況（ハロンを除く）は、次のとおりです。

● ハロン供給及び回収実績

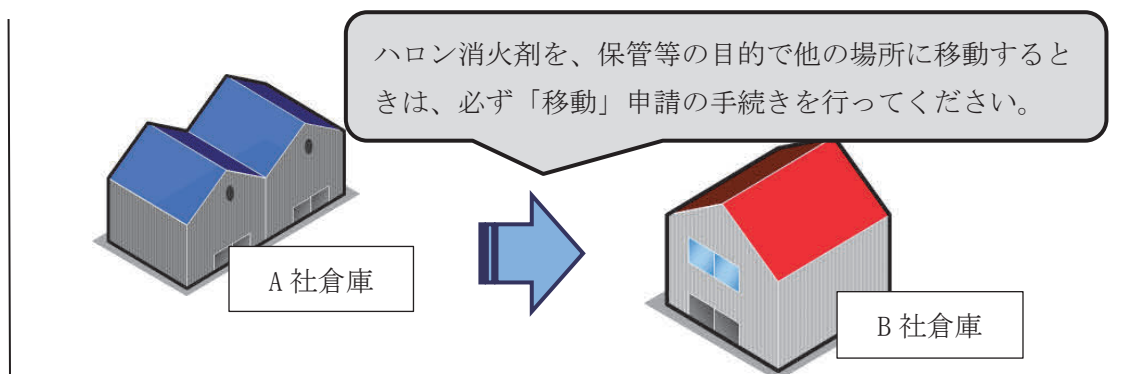
供給ガス	168 件、 約 94.9 トン （平成 28 年度 273 件、 約 192.7 トン）
回収ガス	357 件、 約 143.7 トン （平成 28 年度 494 件、 約 175.7 トン）

「供給ガス」は、設置ガスと補充ガスの合計です。また、平成 29 年 12 月 20 日現在、ハロン 1301 の登録件数は約 45,000 件、消火剤量は約 16,398 トンです。

● ガス系消火剤の登録状況（ハロンを除く）

二酸化炭素	112 件、 約 153.2 トン （平成 28 年度 150 件、 約 195.5 トン）
窒素、IG-55、IG-541	166 件、 約 127.9 km ³ （平成 28 年度 321 件、 約 214.1 km ³ ）
HFC-23、HFC-227ea、FK-5-1-12	81 件、 約 42.0 トン （平成 28 年度 100 件、 約 32.6 トン）

《ワンポイントプラス》 ～ハロンの移動申請の手続き～



4. 幹事会

幹事会の開催日及び主な議題は次のとおりです。

● 開催日

第 72 回 8 月 23 日、 第 73 回 10 月 18 日

● 主な議題

- ・ 平成 29 年 6 月～11 月のハロン回収量及び供給量の実績報告
- ・ 平成 29 年 6 月～11 月のガス系消火剤（ハロンを除く）の登録状況報告
- ・ 平成 29 年 6 月～11 月の活動計算書報告
- ・ ハロン 1301 回収再生設備の登録更新確認結果報告
- ・ 第 39 回モンテリオール議定書締約国公開作業部会（OEWG39）出張報告
- ・ 「ハロン消火剤と予防行政に関する研修会 2017」の開催

5. 第39回モントリオール議定書締約国公開作業部会（OEWG39）

国連環境計画（UNEP*）は、平成29年7月11日（火）から7月14日（金）までの4日間、タイ王国・バンコクの国連会議場で、第39回モントリオール議定書締約国公開作業部会（OEWG39*）を開催しました。議定書を批准する197の国と地域（EU他）の代表、国連関係機関、環境NGO、産業界等から毎回およそ500名が参加する会合がOEWGであり、またオゾン層保護に係るUNEP下部組織による調査・研究結果の報告、規制物質の特例生産申請に関する検討、開発途上国支援のための議定書多数国間基金の資金調達に関する検討、地球温暖化防止に関する検討等を行う、議定書締約国会合（MOP*）の準備会議です。

OEWG39には、議定書の議論の最新動向を把握するとともに、OEWG会期中に他国から日本のハロン管理に関連する意見や質問等があった場合に、その場で直ちに日本国（消防庁）としての対応をとっていただくため、総務省消防庁を代表して予防課から四維（よっい）設備係長に出席いただき、消防環境ネットワークの木原副会長、柴田事務局長と能美防災㈱八木氏（ハロン技術選択委員会（HTOC*）委員）がアドバイザーとして同行しました。



会議場



会議中のようす



会場内の案内表示



*

UNEP : United Nations Environment Programme

OEWG39 : 39th Open-Ended Working Group

MOP : Meeting of the Parties to the Montreal Protocol

HTOC : Halons Technical Options Committee